



SHINAGAWA
GAKUEN

品川学園だより

葉月
August

令和8年8月号
品川区立品川学園
校長 小宮山 琢磨
発行日 7月29日

スマイル&チャレンジで夏休みを

校長 小宮山 琢磨

17日の終業式では、昨年度に引き続き、「スマイル&チャレンジに夏休みを過ごそう!」と話をしました。二者面談、三者面談へのご協力ありがとうございました。情報共有だけでなく、多くの励ましの言葉をもらい、2学期からさらに工夫して準備したいなどの声が校務センターでも増えた印象です。ウェルビーイングの向上が創造性につながる期待にうれしくなります。

☆

7月8日、687名の方に来校いただきました。554名の方に授業参観していただきました。108名の方のアンケートでは、以下のような肯定評価をいただきました。

- ① 児童・生徒は前向きに学習に取り組んでいますか 94%
- ② 児童・生徒は自分の考えをもつことができていますか 94%
- ③ 児童・生徒は、集団の中で協力し、対話できていますか 92%

児童・生徒の当日、校区教育協働委員会も開催し、委員の皆さんから、教員と児童・生徒の関係、授業の進め方について、ご指摘をいただきました。校内研究を通して、よりよい授業づくりに取り組んでいます。また、6年生の宿泊行事説明会が延期になった案内がなかったこと、保護者会の終了が前倒しになった学年があったことなど、せっかく仕事の都合をつくっていただいた保護者の方に対し、運営上の配慮が不足していたと考えます。児童・生徒への励ましの言葉をたくさんいただきました。校長室前に掲示して残しておきますので、機会があればご覧ください。

☆

1945年から81年、8月には忘れてはいけない日があります。8月6日の広島への原子爆弾投下、8月9日の長崎への原子爆弾投下、8月15日の終戦の日です。8月は先の大戦を振り返る機会でもあります。戦争はどんなことがあっても起こしてはならないという覚悟を確認したいと思います。加えて、2016年7月29日、津久井やまゆり園で発生した事件から10年になり、夏休みには必ずこの事件に立ち返るようにしています。私にとって、ウェルビーイングという言葉との出会いとともに、共生社会への参画、教員としての立ち位置について強く揺さぶられた事件でした。そもそも「優生思想」による、優生保護法が1996年まで存在したこと、2024年に最高裁でこの法律の違憲性が確定したこと、それでも、私の中に潜んでいる優生思想的な発想の存在に怯えています。事件を扱った映画「月」(2023)は、内面を鋭くえぐられるような作品でした。映画館で観たのですが、自宅で鑑賞し直す勇気が未だに湧いてきません。気持ちの整理ができていないのです。ちなみに、6月の巻頭言で、過去のNODAMAP作品名を紹介しましたが、「華氏マイナス320°」は、先の事件を、ハーメルンの笛吹きをモチーフに、「命の選別」をテーマにした作品でした。手話でのナレーション、フィナーレの静寂など独創的な演出は圧巻でした。神奈川県主催追悼式において、黒岩知事は、事件の背景にある障害者への差別意識を「自分勝手にデタラメで完全に間違っただけ」とし、事件を知らない世代が増えるなかで「この思いをしっかりとつないでいく」と述べていました。共生社会の実現に向けて、戦っていく覚悟が必要なのでしょう。この夏、もう一度、見直していかなければならないと思っています。

☆

7月24日にきゅりあんで行われた『社会を明るくする運動中央大会「区民愛のつどい」』で青少

年善行表彰として、本学園の児童生徒会と吹奏楽部が表彰されました。区長をはじめ日頃、地域で活動している方が参加されたこの会で、品川学園の児童生徒会長が代表で活動を紹介しました。責任をもって社会を変えていく力が育っていると実感できる時間でした。

【品川学園 吹奏楽部】

○大崎ゲートシティにおいてスプリングコンサートを企画し、演出を工夫するとともに、笑顔あふれる演奏を行うことで、来場した地域の方々全体を明るくする取組を実施した。生徒自らが地域イベントの参加を発案し、主体的に関わる姿勢は、地域社会を明るくする力となっている。また、音楽を通じて社会を元気づけるメッセージを地域に届け、地域の活性化に寄与した。

【品川学園 児童生徒会】

○正門の桜並木を活用し、イルミネーション装飾を実施することで、地域の通行人にも開かれた空間づくりに取り組み、学校と地域のつながりを深める機会となった。

○品川学園のマスコットキャラクターの募集・制作を行い、子どもたちの意見表明の機会を創出するとともに、ウェルビーイングを重視した学校づくりを推進した。

○運動会の応援メッセージにおいて、児童生徒会応援団が中心となり、一致団結した応援演技を披露したことで、地域、保護者に向けて、前向きで明るい社会づくりへの機運を高める役割を果たした。

受賞者体験として、児童生徒会長の長谷川さんと児童生徒会役員の川邊さんが、舞台上で報告しました。以下に全文紹介します。

・・・私たち児童生徒会は主に児童・生徒、学校に携わるすべての人全員が、どうしたらウェルビーイングになるかをもとに活動しています。今年度行った具体的な取組として、目安箱の設置、マスコットキャラクターの作成、イルミネーションについて今日は話をさせていただきます。

イルミネーションは、冬季に、私たち児童生徒会の企画により、校庭や校舎周辺を美しくライトアップし、地域の方々や保護者も楽しめる地域の風物詩になっていて、2年前から行っているイベントです。PTAの方から寄付していただいた物を生徒ボランティアを募って装飾します。ただライトアップするだけでなく、光を通して心と心を繋ぐ、児童・生徒がイルミネーションを通して、よりよい学校生活を楽しめるように、そんな想いが込められている活動でもあります。先生方や下校中や部活動終わりの児童・生徒にも大好評でした。目安箱は、児童生徒がいつでも気楽に学校への意見や改善してほしいことを相談できるように設置しました。たくさんの意見が入り、私たちも学校の課題を知ることができ、ウェルビーイングに近づいている気がします。

マスコットキャラクターは総選挙の企画は、私が、児童生徒会役員に立候補した時の「公約」にしていたアイデアです。品川学園のマスコットキャラクターを児童・生徒の皆で作ることで、学校への親近感が深まり、日々の生活がより良いものになることを願って考えました。マスコットキャラクター総選挙は、1から9年生の全校の児童・生徒に呼びかけるところから始めました。結果、107作品もの応募があり、1～3年生では、予備投票を行いました。最終投票では、27作品から、iPadで投票してもらい、決定しました。北海道で大人気のシマエナガから着想を得たキャラクターです。仲間が集まり仲良く暮らすシマエナガのように、誰もひとりぼっちにしない、みんなで一つの品川学園を作ろうという思いが込められています。この「しなエナガ」は先生方にも協力いただき、今後の学校の広報活動やイベントなどにどんどん使用していきたいと思っています。・・・

☆

先日、六行会で行われた「品川文化祭 ART!アート!あーと!2026」では、美術部、パソコンメディア部、特別支援学級の作品展示、演劇部、吹奏楽部、ダンス部のステージパフォーマンスの機会をいただきました。今回、本学園に関する活動をすべて参観して応援することができました。実行委員長の荒川右文様（前校長）をはじめ、実行員の皆様、六行会理事長の村林慶一様をはじめ六行会ホール運営の皆様には、活躍の場を準備いただきありがとうございました。これからも、夏休み中、たくさんの活動をたくさんの方が支えていただいています。スマイル&チャレンジして活動し、成長した児童・生徒の顔が見られることを楽しみに、2学期の準備に取り組んでいきます。

心は、熊本の皆さん、復旧に取り組んでいる方々とともにあります。

教育施策推進室より

教育施策推進室長 杉浦 紀彦

先日まで、2年教室の廊下には「はたらく消防の写生会」の作品が飾られていました。品川消防署のご協力のもと2年児童が描いた、いわゆる消防車両や救急車の絵です。一般的に写生とは、対象物のもつ形や色などをよく見てありのままに描き写すことだと思うのですが、児童の作品はどれも個性的で、写生したというものではなさそうです。ただ、作品一つ一つをよく見てみると、どの作品にも非常に詳しく描かれた部分があり、児童のこだわりが感じられます。はしごの格子柄や細かな機械部分、タイヤの凹凸、「東京消防庁」「AMBULANCE」の文字など、児童が消防署の方の話を聞き、本物を見たことによって心が動いたものを正確に描こうとしたのだらうと思います。同じ物を見て同じ体験をしても、児童は一人一人の心のレンズで捉えるものが違って、それが絵という場で表現されている。子どもの世界の面白さを改めて感じた出来事でした。

これから8月に入ります。きっとご家族で様々な体験を共有することと思います。この夏の特別な体験が、お子様のレンズでどう捉えられ、心に思い出として残るのでしょうか。そのような事にも思いを寄せながら、あと1か月の夏休みをお子様と一緒に楽しんでいただけたらと思います。

24日(金)の午後、全教員が集まって校内研修会を開催しました。今年度は、探究的な学習を通してウェルビーイング教育の充実を図ることを活動の柱としており、4月と7月の学校公開でもその様子をご覧いただきました。この研修会では、各学年、特別支援学級による発表によって1学期間の取組を振り返るとともに、講師としてお招きした平 真由子氏(金沢工業大学准教授)と渡邊 淳司氏(NTTコミュニケーション科学基礎研究所上席特別研究員)から指導・助言をいただきながら、取組の成果と今後の課題を全員で共有しました。

教員は指導理論や方法を学んで身につけるのは当然ですが、学習を通して見られる児童・生徒の成長を適切に見取り、その後の学習指導に生かす力も求められています。今回の研修でもそのような課題が講師から示され、皆で共有しました。私たち教員も少しばかりお休みをいただきながら教員としてのレンズを磨き、2学期に向けて準備を進めてまいります。まだまだしばらく猛暑が続きますが、どうかご自愛ください。

*「はたらく消防の写生会」の区内入賞作品 34 点が令和8年8月 31 日(月)まで、区内各所(品川保健センター1階、大崎図書館2階、区役所7階、TOCビル1階)で展示されています。

教務部

保護者連絡ツール「tetoru」(てとる)が2学期から本格的に利用開始となります。ご登録の方もありがとうございます。主に2点で運用していきます。

(1) 連絡配信機能

学校から保護者へ連絡を行う機能です。これまでのメール配信に代わり、アプリに通知が届きます。

開始日: 令和8年8月25日から

※保護者メールの並行使用は令和8年8月31日までの予定。(状況に応じて延長もあります)

(2) 欠席連絡機能

これまで Forms 等で行っていた欠席連絡は、今後はアプリからご連絡ください。

開始日: 令和8年9月1日から

※なお、アプリ版をご利用いただけない場合は欠席連絡機能をご利用いただけません。

詳しくは、本日メールで配信したプリントをご確認ください。

生活指導部

○児童・生徒の自殺予防について

日々の生活の中で、子どもたちは前向きな気持ちとともに、不安や悩みを感じながら過ごしています。子どもたちに接する中で現れる微妙なサインを感じましたら、学校や以下の相談窓口にご連絡ください。子どもたちが安心して学び、成長していけるよう、家庭・学校・地域が連携していくことが重要です。ご理解、ご協力よろしくお願いいたします。

<相談窓口一覧>

こころの電話相談室 042-312-8119

こころといのちのホットライン 0570-087478

○引き渡し訓練【9月1日（火）給食あり】・防災授業公開

☆授業終了時刻をそろえる形に変更しています。

1～4年 13:40～14:25（防災授業公開）

5～9年 13:35～14:25（防災授業公開）

⇒授業終了後 引き渡し開始予定（14:35～）

9月の行事予定

	月	火	水	木	金	土
	8/31	1	2	3	4	5
B 週		始業式 給食始 防災授業公開 引き渡し訓練		夏休み作品展始 （1-6 年） 特別支援学級連合ス ポーツ大会（6 組）	ブロック集会 （生徒課程） 委員会 児童生徒会役員選 挙始	
6	7	8	9	10	11	12
A 週	いじめ防止推進ウィーク始 身体測定（5.6 年） 修学旅行事前検診（9 年、6 組）	身体測定（3.4 年）	修学旅行（9 年） 夏休み作品展終 （1-6 年） 身体測定（1.2 年）	修学旅行（9 年） 身体測定（5 組）	児童生徒集会 修学旅行（9 年） PTA 試食会 いじめ防止推進ウィーク終 児童生徒会役員選 挙運動終	
13	14	15	16	17	18	19
B 週	車いすマラソン講演 （児童課程） 社会科見学（6 年） 磐梯移動教室事前 検診（7 年）	児童会役員選挙	磐梯移動教室 （7 年）	磐梯移動教室 （7 年）	ブロック集会 （児童課程） 磐梯移動教室（7 年） たてわりクラブ （児童課程） クラブ活動（5.6 年）	
20	21	22	23	24	25	26
A 週	敬老の日	国民の休日	秋分の日	中間考査（9 年）	中間考査（9 年） 到達度テスト（7.8 年）	
27	28	29	30	10/1	2	3
B 週			イングリッシュキャラ バン（児童課程）	都民の日	全校集会 品学 GlobalDay 英検（生徒課程）	